教育講演 12



運動器疾患における疼痛のみかた
～病態・機能・疼痛メカニズムを統合して考える～

福岡整形外科病院臨床研究センター[1)],
福岡整形外科病院リハビリテーション科[2)],
愛知医科大学医学部疼痛医学講座[3)]

田中 創[1,2,3)]

運動器疾患における疼痛は，組織損傷や画像所見のみでは十分に説明できず，症状の強さと病態所見が一致しない症例も少なくない．疼痛を的確に評価し介入へつなげるためには，局所組織の病態に加え，メカニカルストレス（力学的負荷），神経系の関与，末梢・中枢感作，心理社会的要因，生活環境など，多面的な視点から統合的に捉えることが重要である．

本講演では，まず病態と疼痛との関係を整理し，関節・筋・腱・靱帯に加わる力学的負荷や運動制御が，どのように疼痛の発生・増悪・遷延に影響するかを概説する．次に，末梢神経障害や神経過敏など神経系由来の疼痛について触れ，侵害受容性疼痛，神経障害性疼痛，さらに痛覚変調性疼痛の特徴と臨床的な見分け方を解説する．あわせて，末梢・中枢感作による疼痛増幅メカニズムについても整理する．

さらに，心理社会的因子や生活様式が，疼痛の慢性化や機能障害に及ぼす影響について整理する．これらを踏まえ，病歴聴取，身体所見，機能評価から得られる情報を統合し，「何が疼痛の主因か」「何が増悪因子・維持因子か」を見極める臨床推論の視点を提示する．また，症例を通して，疼痛要因の整理と介入の実際について実践的に紹介する．疼痛を単一要因ではなく多因子現象として理解し，より精度の高い理学療法の実践につなげるための視点を共有する機会としたい．

略歴

2003年3月　西日本リハビリテーション学院　理学療法学科　卒業
2003年4月　副島整形外科病院　リハビリテーション科　入職
2013年1月　九州医療スポーツ専門学校・付属クリニック　入職
2018年3月　畿央大学大学院　健康科学研究科　修士課程　修了
2019年4月　福岡整形外科病院　リハビリテーション科（現職）
2022年3月　愛知医科大学大学院　医学研究科　博士課程　修了
2022年4月　愛知医科大学　医学部　疼痛医学講座　研究員（現職）
2024年3月　福岡整形外科病院　臨床研究センター　研究員（現職）